※令和４年度以降入学生用

学校番号	3019

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業では、論理的に文章を読み書きする力を培うとともに、相手に分かりやすく伝えるための方法や資料の読み取り方など、実生活で活きる力の習得をめざしています。
自ら考えない限り、読解力や思考力は育ちません。授業中は「わからないから」とあきらめる前に、自ら進んで考える姿勢を養いましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）実生活に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実生活に必要な国語の知識や技能が身についている。	論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させるとともに、言葉を通じて積極的に他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	明日をひらく ［教材］ ・考える技術―考えさせない時代に抗して	a:言葉の意味内容を改めて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 B［読］:内容や論理の展開について叙述をもとに的確に捉えている。 c:積極的に学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	的確に伝える ［教材］ ・伝わるように話す	a:話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 B［話］:話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解やすいように表現を工夫して話している。 c:口頭での説明を通して、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	要点をつかむ ［教材］ ・文章の要点をつかむ ・水の東西	ａ：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ｂ［読・聞］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ｃ：積極的に学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	意見を示す ［教材］ ・意見を書く	ａ： 文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 ｂ［書］： 論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 ｃ： 意見文の相互評価および単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
二学期	論理をとらえる ［教材］ ・文章の論理をとらえる ・自然と人間の関係をとおして考える	ａ：主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論の仕方について理解している。 ｂ［読］：本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開について的確に捉えている。 ｃ： 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論の仕方に注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	魅力的に伝える ［教材］ ・魅力的な紹介文を書く	ａ：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ｂ［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 ｃ：紹介文を書く活動に興味をもち、読み手が共感できるように表現を工夫して書こうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	資料を駆使する ［教材］ ・資料と文章の関係を読む ・インターネット時代の音楽産業	ａ：本文における主張と根拠の資料との関係について理解できている。 ｂ［読］：本文の構成に注意して読み、資料の援用意図について解釈できている。 ｃ：図表を伴う文章を読むことで、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	他者と交流する ［教材］ ・目的に沿った質問をする	ａ：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ｂ［話・聞］：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：得られる情報や効果を意識しながら質問をしつつ、自分自身の質問の仕方について積極的に振り返ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
三学期	情報を比較する ［教材］ ・空気を読む ・「個人」から「分人」へ	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［読］:目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 c:複数の文章を比較して読むことに意欲を持ち、共通点や相違点を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間